

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 細胞制御学

(氏名) 尾崎 惠一

(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 癌・脂肪細胞の増殖・分化制御機構に関する研究
2. シグナル遮断薬によるシグナル伝達病治療に関する基礎研究
3. ヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) 阻害を基盤とした新規がん分子標的療法の開発
4. 低酸素環境下におけるがん細胞の悪性化に関する研究
5. 細胞内セラミドと抗がん剤感受性との関連について

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. S. Tanimura, A. Uchiyama, K. Watanabe, M. Yasunaga, Y. Inada, T. Kawabata, K. Iwashita, S. Noda, K. Ozaki and M. Kohno: Blockade of constitutively activated ERK signaling enhances cytotoxicity of microtubule-destabilizing agents in tumor cells, *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 378, 650-655 (2009). (IF:2.648)

B 邦文

(B-d) 紀要

1. 大学高度化推進経費 (萌芽) 研究プロジェクト(2008) 実施報告書
「脂肪細胞制御による新規糖尿病治療薬開発のための基礎研究」
2. 科学研究費補助金研究成果報告書[基盤研究(C) 2007-2008]
「ヒストン脱アセチル化酵素阻害を基盤とした新規がん分子標的療法の開発」

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. T. Sakamoto, K. Ozaki, N. Baba, K. Fujio, S. Tanimura and M. Kohno: Blockade of constitutively activated ERK signaling enhances cytotoxicity of HDAC inhibitors in tumor cells, The Second Asian Symposium on Pharmaceutical Sciences in Nagasaki.

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 坂元利彰, 尾崎 惠一, 馬場伸幸, 藤尾康祐, 梶川修平, 河野通明: HDAC 阻害剤と MEK 阻害剤の併用による細胞死増強の分子機構, 第 18 回日本アポトーシス研究会学術集会, 長崎
2. K. Ozaki, Y. Seki, K. Hyakutake, M. Kohno: Blockade of the PI3 kinase/Akt pathway enhances cytotoxicity of doxorubicine via the increased accumulation of ceramide,

第 68 回日本癌学会総会, 横浜

3. 坂元利彰, 藤尾康祐, 梶川修平, 尾崎恵一, 河野通明: MEK 阻害剤と HDAC 阻害剤の併用による抗腫瘍効果増強-xenograft での検討-, 第 26 回日本薬学会九州支部大会, 福岡
4. 馬場伸幸, 尾崎恵一, 河野通明: イマチニブ抵抗性 Bcr-Abl 変異 (T315I) 白血病細胞に対する効果的治療法の開発, 第 26 回日本薬学会九州支部大会, 福岡
5. 岩崎由香, 原田亜弥, 尾崎恵一, 栗津緑, 河野通明: 脂肪細胞制御によるメタボリック症候群治療の可能性, 第 26 回日本薬学会九州支部大会, 福岡

【研究費取得状況】

1. 科学研究費補助金 基盤研究(C)
“HDAC 阻害剤による「がんの個別化治療」確立のための基礎的検討”

【学会役員等】

1. 日本薬学会代議員 (九州支部長崎大学幹事)
2. 日本生化学会「生化学」誌企画協力委員

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	26 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	4 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	3 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	16 編
特許	0 件		